

発行編集

社団法人 **福岡県防犯協会連合会**
 〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
 福岡県警察本部内 TEL.092(633)3221
 ホームページ <http://www.fukuboren.com/>
 昭和32年8月5日 第3種郵便物認可
 平成23年5月1日発行
 毎月1回1日発行 定価一部5円
 印刷 白木メディア株式会社

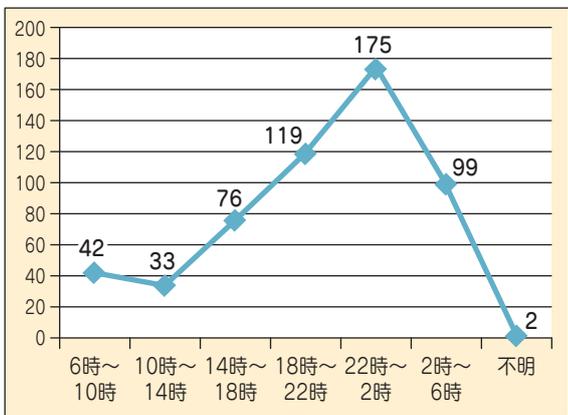
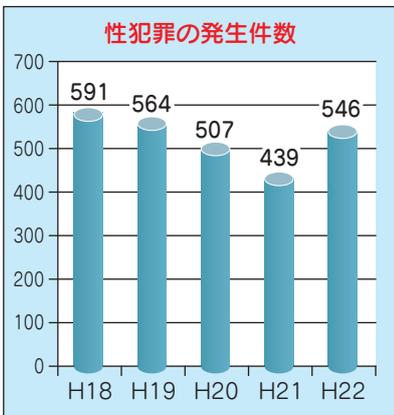
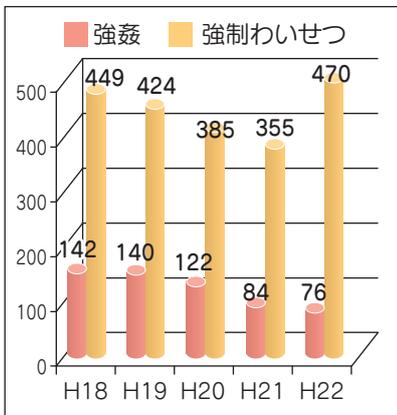


防犯ふくおか

子どもと女性を性犯罪等の被害から守りましょう!!

を持つとともに社会全体で子どもと女性を犯罪被害から守りましょう。

福岡県の性犯罪の発生件数は、平成18年以降減少傾向にありましたが、昨年は546件前年比107件増と5年ぶりに増加に転じました。例年、これから夏場にかけて、性犯罪が増加する傾向にあり、一人ひとりが防犯意識



被害者の年齢別

- 未成年者が全体の約47%を占めている。
- 「16歳から約22歳まで」が全体の約47%を占めている。
- 「10歳代」が約39%、「20歳代」が約42%を占めている。

被害者の職業別

- 学校在籍者が全体の約51%を占めている。
- 「高校生」が約14%、「大学生」が約12%、「小学生」が約11%である。
- 「有職者」が約38%である。

被害者の時間帯別

- 「18時～22時まで」が約22%、「22時～2時」まで「が約32%を占めている。
- 年齢層が上がるにつれて、被害も夜間から深夜・未明に移行している。

犯行手口

- 屋内被害
 - ・無締まりのドアや窓から侵入する。
 - ・被害者が自宅玄関の力ギを開けると同時に、室内に押し込む。
 - ・住民を装い、マンション等に侵入し、エレベーター内、非常階段などの住民の死角となる場所に連れ込む。
 - ・宅配便等を装い、ドアを開けさせ、室内に押し込む。
- 屋外被害
 - ・帰宅中の被害者をつけて行き、人はいない暗い場所でききなり襲う。
 - ・携帯電話の使用や音楽を聴きながら歩くなど、スキがある女性を狙う。
 - ・遊戯中の子どもに声をかけ、人目のないところに連れ行く。
 - ・子どもが一人で歩いているときや、公園等で一人になる機会をまって声をかけ、車の中等に連れ込む。



声かけ等前兆事案の犯行手口

- ・下校中や遊戯中の小学生に対して「お菓子をあげるからおいで」「お母さんから頼まれて呼びにきた」と声をかける。
- ・帰宅中の女子中高生等に対して、「車で送ってあげる」と声をかける。
- ・徒歩や自転車で行く途中の女子中高生等に対し、後方から追い抜きざま胸などを触る。
- ・車の中から声をかけ、露出した陰部をみせる。
- ・陰部を露出して女性に近づく。

性犯罪等の被害防止に関するアンケート調査結果(県警調べ)

県警は、性犯罪等の被害に関して、県内の女子高校生約8,000人を対象に、意識や行動実態等に関するアンケート調査を行いました。

★性犯罪被害の実態

性犯罪被害に遭ったことがある者は約14%、約1,200人で、このうち約69%が警察に被害を届けしていない。

★意識・行動実態等(未回答を除く)

- Q 日ごろから気をつけているので、被害に遭わないと思う **はい52% いいえ45%**
- Q 家庭で性犯罪被害防止の指導されたことがある **はい24% いいえ75%**
- Q 防犯ブザーを持ち歩いている **はい9% いいえ90%**
- Q 音楽を聴いたり、携帯電話をしながら夜道を歩く **はい67% いいえ32%**
- Q 痴漢に遭わないよう気をつけている **はい37% いいえ62%**

★携帯電話の利用(未回答を除く)

- Q 携帯電話を持っている **はい82% いいえ17%**
- Q インターネットの危険性を知っている **はい84% いいえ15%**
- Q フィルタリングサービスを利用している **はい31% いいえ67%**
- Q ネットに自分の個人情報公開していることがある **はい31% いいえ68%**

分析結果

- 被害に遭っても警察に届けない者が多い。
- 日常生活における防犯意識が低く、無防備な者が多い。
- インターネット等の危険性の認識はあるが、自衛策が不十分である。

アンケート

女性の皆さん気をつけて!!

行楽期や夏に向けて、夜間、外出が増える時期になり、性犯罪やちかんなどが心配されます。自分は大丈夫!」は危険です。

防犯ポイント

- 夜間、帰宅する場合は友人と一緒に!
- 明るく、人通りの多い道を選びましょう。
- 後ろからつけてくる者がいないか周囲を確認しましょう。
- 携帯電話を使用しながら歩くのは危険です。
- 玄関や窓の力は、必ず掛けましょう。
- 訪問者には、ドアチェーンを掛けたまま対応しましょう。



大切な子どもを守るために!!

一人で遊んでいる子どもを狙った「声かけ」事案が多発しています。

防犯ポイント

- 一人で遊ばせない。
- トイレに行くときも友達を誘って一緒に行くようにしましょう。
- 誰と何処で遊ぶか、何時に帰るかを必ず家の人に言う習慣を身につけましょう。
- 防犯ブザーを持たせ、すぐ使えるようにしておきましょう。

しっかりと覚えよう!!「いかのおすし」

- 知らない人にはついでいかない
- 知らない人の車にはのらない
- こわいときにはおおきな声で助けを呼ぶ
- 人のいる所にすべに逃げる
- 何があったのか家の人に知らせる。



児童虐待から子どもを救おう!!

平成22年の全国の警察が摘発した18歳未満への児童虐待は、354件で前年より19件増加し、統計を取り始めた平成11年以降最多となりました。本県は24件で、大阪の30件に次いで2番目の多さになっています。児童虐待事件の検挙件数は増加傾向にあります。児童が命をおとす悲劇も後を絶ちません。

児童虐待のシグナルに注意

子どもの様子

- 不自然な傷が多い。
- 言動が乱暴で、弱い者に暴力をふるったり、小動物に残酷な行為をする。
- いつもおなかを空かしている。
- 季節にそぐわない服装や、いつも衣服が破れたり、汚れている。
- 家出を繰り返す、家に帰らなからない。



家庭・親の様子

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や、親の怒鳴り声がある。
- 室内やベランダ等にゴミが散乱していたり、異臭がする。
- 病気やけがをしても病院に連れて行かない。
- 乳幼児を置き去りにして長時間の外出をする。
- 子どもが泣いても抱いたり、あやしたりしない。

★あなたの「通告・通報」が児童虐待から子どもたちを救います。「知らせる」勇氣とおもいやりを持ちましょう。

※児童虐待の防止等に関する法律(第6条)

児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、すみやかに市町村、福祉事務所もしくは児童相談所に通告しなければなりません。

義援金名目の振り込み詐欺等に注意!

去る3月11日に発生した東北関東大震災に乗じて、全国的に「義援金名目を装った詐欺事件等」が多発しています。県内でも電話や自宅への訪問などにより「被災地に送りたい。貴金属を提供してください。」「義援金をお願いします。寄付をお願いします。」等と持ちかけ、貴金属や現金を騙し取ろうとする事件が発生しています。これからも発生するおそれがありますので、十分に注意しましょう。

被害防止のポイント

- 「義援金を振り込んで」寄付をお願いします。などと言ってきたら...
- すぐに振り込まない。現金等を渡さない。事実を確認する。
- 家族や警察に電話する。
- 義援金を呼びかけるメールやサイトを見つけたら...
- 振り込み先口座が個人名義になっていないか確認する。
- 少しでも怪しいと思ったら振り込まない。

暴力団を追放しよう!! 暴力追放福岡市民緊急総決起大会

平成23年3月15日に福岡市中央区、同東区で発生した暴力団の関与が疑われる爆発物の投げ込み事件の発生を受け、3月18日(金)、福岡市中央区市役所ふれあい広場において、企業関係者、地域住民、行政、警察等約2,000名が参加した「暴力追放福岡市民緊急総決起大会」が開催されました。県知事、福岡市長、県警本部長等の挨拶に続き、市民代表が二丸となつて暴力団を根絶するため全力で取り組もうと大会宣言し、全員でシュプレヒコールをあげ、その後天神周辺をパレードして、暴力団排除を訴えました。



くらしの110番

投資したお金が戻ってこない! 老後の大切な資金が 狙われています!

相談事例

昨年9月ごろから、「投資話の電話がかかってきて、その後訪問を受けた。必ず儲かるとの言葉信じ、多額のお金を支払ってしまった。」投資したお金が戻らないのでは?との相談が集中してあります。相談者のほとんどが70歳前後の女性で、被害に遭った金額は合計6件で4千万円近くとなりました。

対応・処理

書面の不備や不交付、金融商品取引法「適合性の原則」に違反する勧誘方法もありましたので、業者との交渉に入りました。適合性の原則では、顧客の知識、経験、財産の状況等を確認したうえで、顧客に合った商品をすすめることが義務づけられています。

しかし、「代金は返金する」と回答するものの、実際には返金しないまま倒産してしまい、弁護士が入って交渉中です。このような被害に遭うと、投資したお金の回収が難しく、泣き寝入り状態になるおそれがあります。

アドバイス

被害に遭わないためには、必ず一人で即決しないことです。誰かに相談したり、最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口などに情報を聞くことです。

騙す側はプロですから、言葉巧みに近寄ってきます。特にお金を取るときは急がせるので、早急にお金を支払わないことです。

もし、支払ってしまった場合には、最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口にご相談してください。振り込んだ場合は警察や金融機関に連絡して、早急に振込先の預金口座の利用停止を求めましょう。

世の中には、つましい話はありません。注意を! 【資料提供: 県消費者生活センター】

私の提言

少年の健全育成を願って!!
「子ども達が求めているもの」



久留米少年サポートセンター
少年補導職員
友清 貴子

少年サポートセンターで勤務し、様々な子どもとの出会いがありました。子どもと接する度に、親の愛情と家庭の温もりがいかに大切であるか改めて思い知らされています。犯罪行為は決して許されることではありませんが、子どもと関わり、じっくりと話しを聴くと、自分ではどうしようもない環境で、もがき苦しんでいる姿が見えてきます。その度に、決して子どもだけに問題があるのではないと強く感じます。

当時、中学2年生のA子も、その様な子どもの一人でした。笑顔が素敵で、友だち想いのA子でしたが、万引き・家出・シンナー乱用を繰り返していました。仕事で帰宅が遅い両親に代わり、A子が妹の世話と家事を行っていたのです。しかし、当時、A子は思春期の真っ只中の中学生。友だちとの時間を大切にしたい時期でもあり、家事が疎かになる日もあったため、その度に母親の叱責、父親の暴力を受けました。A子は自分の頑張りを全く認められない両親に不満や寂しさを抱き、次第に心が乱れはじめ、服装、言葉づかい、生活態度の乱れへと広がり、非行の道に入り込んで行ったのです。子どもの問題行動は大人に向けたサインです。非行を繰り返す子どもは家庭の中に居場所がなく、寂しさや怒りを抱えている子が少なくありません。

そして助けを求めるかのように、自分と同じ境遇の仲間とグループ化し、共感し、強い仲間意識を持ちます。やっと手に入れた心地よい自分の居場所を失うまいと、仲間との関係を優先し非行を重ねていく子もいます。問題行動を起こすことで、「愛情が欲しい」「寂しい」と訴えているのかもしれない。非行を重症化させないためにも、子どものサインになるべく早く気づき、話を聴き、親の思いや考えを伝え、互いに理解しあうことが必要ではないでしょうか。



少年の健全育成、非行防止の要は「家庭」です。是非、我が子に、「生まれさせてくれてありがとう」「大切な存在だよ」という思いを伝え、子どもが最も求めている「愛情」というお守りを持たせてあげてください。家族だけで問題解決が出来ないときは、私たちサポートセンター職員が親子の架け橋となり支援を行いますので、是非、各少年サポートセンターまでご相談下さい。

中央少年サポートセンター

☎092-588-7830

福岡少年サポートセンター

☎092-841-7830

北九州少年サポートセンター

☎093-881-7830

飯塚少年サポートセンター

☎0948-21-3751

久留米少年サポートセンター

☎0942-30-7867

地域の力
頑張っています

防犯ボランティア団体の紹介

(ペンカラー)



◎団体名
今町校区生活安全パトロール隊

◎活動地区

北九州市小倉北区今町小学校区

◎活動内容等

私たちの団体は、防犯・防災を目的に平成16年に結成され、毎月2回朝の児童の登校時の見守りパトロールと、毎月1回の夜間パトロールを行っています。

校区に大規模市営団地があるところから、パトロールコースを今町地区と南丘地区に分けて実施しているほか、紫川の河川清掃や保育所、小・中学校など教育活動の場との連携にも力を入れて活動しています。

現在隊員は約40名ですが、高齢化が進んでいるため、活性化を図るため児童の保護者世代との連携等を模索しています。今町校区は、小倉北区の中でも犯罪が少ない校区ですが、今後も気を緩めることなく、地域の安全を誓い元気に取り組んでいきます。



◎団体名
西工大二二二隊

◎活動地区

京都郡苅田町新津地区

◎活動内容等

私たちの団体は、平成17年5月に発足し、月一回、学友会を中心に体育系や文科系サークルと協力し、毎回40名が集まり、4班から5班編成で各班コースを変えて、大学周辺地域の防犯パトロールを行っています。

ある時、防犯パトロールに参加していた学生から、「清掃活動も同時に行うことも出来るのではないか」との意見があり、平成19年度から防犯パトロールと併せて、清掃活動も行うことになりました。

また、同年12月に大学の公用車1台を青色パトロール車として登録して青パトの運行も行うようになり、活動の幅が広がり、隊の活動も年々活発化しています。

今後、他のボランティア団体や警察等と一層連携し、学生ボランティアとしての若さを活かし、日ごろからお世話になっている地域の「安全・安心な街づくり」を目指し、頑張っていきます。

